

ISIS がトルコからサリンを受け取る

——エルドアンがこれを漏らした議員を「逆賊」と呼ぶ

【訳者注】もしこれが本当なら、現トルコ政権は、デイヴィド・ウィルコックが言っているように、「陰謀団」の後援者であり、最も悪質なテロリスト・警察国家だということが立証されることになる。

RT

December 18, 2015

<https://www.rt.com/news/326372-erdogan-erdem-chp-syria-sarin/>

トルコ大統領 Recep Tayyip Erdogan (エルドアン) が、野党議員の Eren Erdem を、「国家反逆」で起訴した。エルデム議員は RT に対し、イスラム国のテロリストが、トルコ領内を通してサリン・ガスを受け取っていた——そしてアンカラ政府は、そのすべての証拠を持っていたにもかかわらず、何もしなかったと話した。

関連記事：「トルコの議員が、ISIS がトルコを、サリンの受け取りに利用していたと RT に話し、国家反逆罪に」 <https://www.rt.com/news/326084-erdem-rt-interview-treason/>

「この国には、裏切りの穴に深く隠れ、国家創建以来の党だと主張しながら、外国の TV チャンネルへのインタビューで、トルコが化学兵器をテロリストに売っていると話す者がいる」と、エルドアンは Konya 市の群衆に話した。

トルコ大統領はまた、エルデムの暴露について沈黙している共和国人民党 (CHP) を、「逆賊」と呼んだ。

http://twitter.com/RT_com/status/676292928336195584/photo/1

「この党は何を待っているのだ？ なぜ彼らは黙っているのだ？ これは国家反逆だ。どうしてこの国が、サリン・ガスを、殺人鬼アサドの支配するシリアのテロリスト国家に売った、などと主張できるのか？」というエルドアンの発言を、地方メディアは伝えている。

「いまだに彼を党から追放しないと、恥ずべき連中だ！」と彼は付け加えた。

エルデムが月曜日に、RT へのインタビューで暴露したことは、実際は、トルコの検事総長室が明らかにし、そして突然、隠ぺいした犯罪事実の詳細である。彼の説明によると、トルコ政府は、サリン・ガスが、後に「イスラム国」として世界的に知られるようになったアルカーイダ軍団に、送られていたことに関する大量の証拠を手にしていながら、全くそれを止めようとはしなかった。

<https://t.co/YLR2JYGQAg>

「化学兵器の材料がトルコへ運び込まれ、その当時、イラク・アルカーイダとして知られていた、シリアの ISIS 陣地で合成されていた」と、エルデムは RT に話した。

この告発によれば、この化学兵器の合成材料は、もともと特定のヨーロッパの国々からやってきて、これが全くわからないように、特別のルートを経てトルコを通り、シリアの軍団の実験室に運ばれた。

詳細な証拠が手に入っていたにもかかわらず、手入力で逮捕された、この計画に関係していた 13 人の容疑者は釈放され、この事件はほんの 1 週間後に終結した。エルデムは、2013 年 8 月、この事件が隠ぺいされた直後に、シリアで起こった Ghouta 化学兵器攻撃は、トルコを経由して密輸したサリン・ガスを用いたジハーディストの仕業である可能性が、非常に高いと言う。

加えて、エルデムは、トルコの「機械・化学工業会社」と、彼の主張では、トルコの法務相 Bekir Bozdog が、サリンの密輸に関係していたことを示す、いくつかの証拠を指摘した。

関連記事：「政府に批判的なすべての人々に対し、心理戦を用いるトルコ」

<https://www.rt.com/op-edge/326137-turkey-mp-human-rights/>

RT は、エルデムが、この問題に対して注意を引くのに用いた、唯一の公表機関では決していない。インタビューが行われたのは、この議員がトルコ議会でこの密輸事件について政府と対決した一週間後だった。

エルデムは、彼の暴露に続いて、アンカラの検事総長室が彼を起訴した後で、国家反逆罪に問われた。

共和国人民党の党首 **Gursel Tekin** は、党がエルデムを「後押し」していることを強調している。

一方、エルデムは、自分が社会メディア上で死の脅迫を受けており、**Ottoman Hearths** 党の軍隊組織が、ツイッター上に彼のアドレスを公表して、彼の自宅を攻撃できるようにしていると言っている。

関連記事:「トルコでの批判の声は脅迫を受けている」<https://www.rt.com/op-edge/326296-turkey-mp-opposition-erdem/>

フリーランス記者 **Merav Savir** は、木曜日の朝、彼と電話で話そうとしたときの様子を RT に話した。

「彼は電話でおびえている様子で、このイスタンブールの彼の家の外には一晩中、人々が立っていて、死の脅迫の合唱をし、トルコ国旗を振りながら、彼を逆賊と呼んでいると言っていました」と、サヴィルは言った。

彼女は、こういうことは野党政治家に対しては普通のことと、彼らは、今行われている調査については、怖がってコメントをしないのだと付け加えた。

関連記事:「トルコが、ISIS との石油取引の噂を調査するロシア記者を拘束・連行している」<https://www.rt.com/news/325169-russian-journalists-turkey-isis-oil/>